

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: **アイガスロープ**
製品種類: 加熱充てん形成形目地材
使用上の制限: 業務用
会社名: シーカ・ジャパン株式会社
住所: 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 赤坂Kタワー7F
電話: 03-6434-7291
緊急連絡先電話: Sikaテクニカルセンター 047-436-0811
SDS No.:

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類

物理化学的危険性
可燃性固体: 分類できない
健康に対する有害性
区分に該当しない
環境有害性
区分に該当しない

絵表示: なし
注意喚起語: なし
危険有害性情報: なし

注意書き

安全対策

ミスト/煙/蒸気の吸入を避ける。
加熱熔融時に発生するミスト/煙/蒸気を吸い込まないように、室外で取り扱う場合には風上で作業し、室内の場合は十分な換気を行う。
必要に応じて保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
取扱い後はよく手を洗う。

応急措置

ミスト/煙/蒸気を吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合は水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。
気分が悪い場合は、医師に連絡する。
飲み込んだ場合、無理に嘔吐させず、直ちに医師に連絡する。

保管

直射日光を避け、換気の良い涼しい所で、保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : 加熱充てん形成形目地材

成分名	含有量(%)	CAS No.
石油アスファルト	20-25	8052-42-2
充填材	30	471-34-1
石油系可塑剤・粘着材	20	非公開
ブチルゴム	30	非公開

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い場合、呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡する。

皮膚(又は髪)に付着した場合

外観に変化が見られたり、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続けること。眼球を傷つける可能性があるため、清浄な水で十分に洗い流すこと。
眼の刺激が続く場合、異常を感じる場合は、直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

無理に嘔吐させず、直ちに医師に連絡する。

最も重要な徴候及び症状

データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は粉末・泡消火剤、乾燥砂を使用する。

不適切な消火剤

棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性

燃焼の際は、硫化水素、一酸化炭素等の有毒ガスが発生するおそれがある。

特有の消火方法

火元の燃焼源を断ち、風上より消化剤を使用して消火する。

消火を行う者の保護

消火作業は、適切な保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク、吸気式呼吸用保護具、耐熱性着衣など)を着用する。消火作業は風上より行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には、着火した場合に備え、消火用保護具を必ず着用する。

環境に対する注意事項

河川、下水道への流出、土壌への放出を防止する。
万一、公共水域に流出した場合は、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督省庁へ届け出る。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

少量の場合は、砂、土、ウエス等に吸収させる。大量の場合は、盛り土で囲い流出を止めた後、容器に回収する。器具を使って取り除き、廃棄処分の規定に従って処理する。

二次災害の防止策

漏洩時には事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

充てん時に眼及び皮膚に触れる可能性がある為、作業の際は保護具を着用する。

取扱後は手を良く洗う。

(火災・爆発の防止)

長時間の加熱を避け、蒸気を発生させない。

加熱する場合には、火傷に注意する。

周辺でのスパーク、火気の使用は、注意する。

局所排気、全体換気

特になし

注意事項

重量物であるため、落下等の乱暴な取扱は避ける。傷・変形等防止のため衝撃は避ける。

安全取扱注意事項

適切な各保護具(保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具)を着用する。

取り扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

直射日光を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

避けるべき保管条件

極端な高温・多湿。また、直射日光・風雨・結露・横積み等は避ける。

湿度の高いところなど湿気によりダンボール箱の破れや荷くずれ等に注意する。

配合禁忌

データなし

容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度 :データなし

許容濃度

(Asphalt fume as benzene-soluble aerosol) ACGIH(2014) TWA 0.5mg/m³

設備対策

発生源の密閉、又は排気装置を設ける。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

必要に応じて、耐油性保護手袋を着用する。

眼の保護具

必要に応じて、保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。

この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(棒状)
色 : 黒色
臭い : 僅かな臭気
融点/凝固点 : データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性 : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
粘度 : データなし
動粘性率 : データなし
溶解度
水に対する溶解度 : 不溶
n-オクタノール/水分配係数 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : 1.4-1.6g/cm³ (20°C)
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし。
避けるべき条件
有機溶剤と接触しないように注意する。
混触危険物質
データなし。
危険有害な分解生成物
燃焼の際は、一酸化炭素、亜硝酸ガス等を発生する。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状
急性毒性
経口毒性成分データ
ラット LD50 5,000mg/kg以上
経皮毒性成分データ
ウサギ LD50 2,000mg/kg以上
局所効果
皮膚腐食性・刺激性
ドレイズテストの結果、刺激性なし。(鉱油の成分情報)
眼に対する重篤な損傷・刺激性
ドレイズテストの結果、刺激性なし。(鉱油の成分情報)
感作性
減圧残留残渣油については、モルモットに対する皮膚感作性試験において陰性であった。
生殖細胞変異原性 : データなし
催奇形性 : データなし

発がん性

IARC-Gr.3 ; Bitumen-瀝青; ヒトに対する発がん性については分類できない。

生殖毒性 :データなし

短期/長期ばく露による即時/慢性影響 :データなし

誤えん有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 :データなし

残留性・分解性 :

残留性 :

アスファルトは常温では蒸発しないが、道路と層の前に加熱する際、フュームを発生する。発生したフュームはすぐに凝縮、沈降して土壤に付着する。フュームの揮発成分は大気中のヒドロキシラジカルと反応する。水中ではアスファルトの分散性は乏しく、浮くか沈むかである。

生分解性 :

アスファルトの水生環境における生分解性の研究例は見当たらない。しかし、数百年にわたって道路舗装に利用してきた経験からアスファルトは明らかにいつまでも持続できる物質であり、生分解性がないことが特長である。

生体蓄積性 :

アスファルトの構成成分のlog Kowは、すべて6以上なので生態蓄積があると判断されるが、実際には極めて水に難溶であり、このような高分子量の物質が水中生物の体内に取り込まれることは考えにくい。

土壤中の移動性 :

土壤中では移動性はない。

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

環境への放出を避ける。投棄禁止。

内容物、容器などの廃棄は、関係法令、地方/国の規則に従って廃棄する。

製品の処分は産業廃棄物処理専門業者に成分を明示して契約を締結すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :該当しない

指針番号 :該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）

該当しない

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）

鉱油

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

鉱油

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

指定可燃物 可燃性固体類

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム（独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE）

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上